



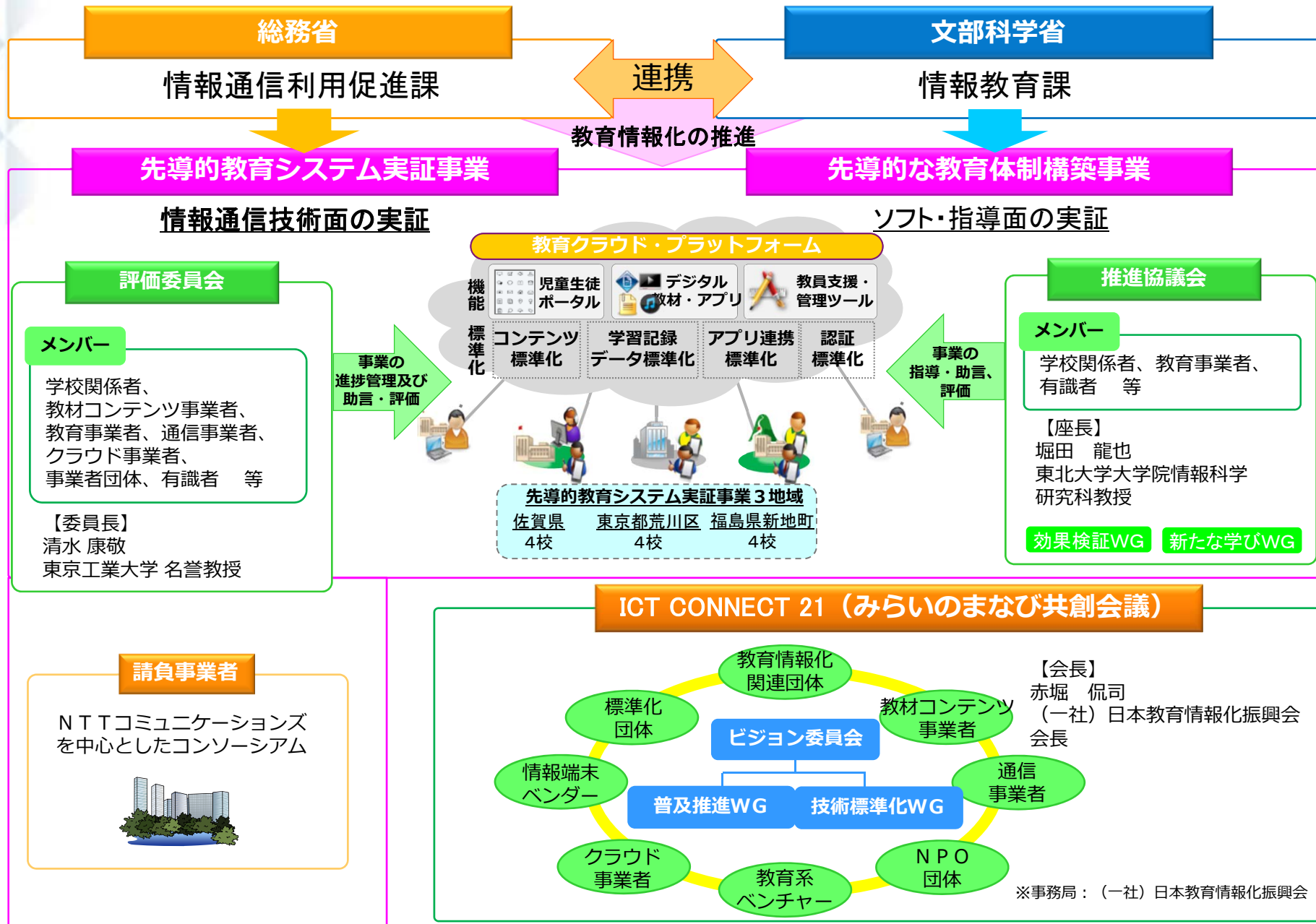
NTTコミュニケーションズの実績紹介

2016年 6月 16日
NTTコミュニケーションズ株式会社

Transform your business, transcend expectations with our technologically advanced solutions.



先導的教育システム実証事業の概要 ※総務省様資料より



先導的教育システム実証事業の概要

- 2014年～2016年度の3か年事業として実証中
- 実証事業の特定校12校を含め、計約70校・約1万ユーザが活用中（海外5か国の日本人学校等含む）
- マルチOS・ブラウザで利用可能（14社200以上のコンテンツにシングルサインオンでアクセス）
- 学習ログは統合的に蓄積され、今後の学習・教育等に有効活用可能
- 自作教材の共有、校内SNSの展開等なども実証



⇒ これらの実証結果、有識者等の意見などを踏まえ、公益性の高い「教育クラウド・プラットフォーム」の標準仕様を策定

教育クラウド・プラットフォームの活用例（在外教育施設）

- トルコ、サウジアラビア、オランダ、ネパール、ペルーの5か国の在外教育施設で利用
- 日本語の教材入手が困難である海外では教育クラウド・プラットフォームの活用が有効で、高い評価も受けている
- 一時帰国時や長期休暇中でも、シームレスに学習やコミュニケーションすることが可能



イスタンブール日本人学校

昨年度、安全対策のため6日間の休校措置を取らざるを得ない事態となったが、クラウドのSNSで緊急連絡を行うと同時に、クラウド上の教材を課題として与え、児童生徒の学習状況等を把握しながら、教育活動を継続（→危機管理にも有効）

また、一時帰国時や長期休暇等の際にも、クラウドでの学習継続が可能

リヤド日本人学校

日本語教材が不足している状況であり、クラウド上の教材として①「百科事典」は調べ学習に、②「動画教材」は教科書（紙面）では伝えきれない部分の補完に有効利用

実際に見ることが難しい映像等も視聴することができ、非常に役立つと好評



教育クラウドプラットフォームの導入意向調査（2016.2~3）

NTT Comが独自で、全国の教育委員会に対し、2016年2~3月の期間で「教育クラウドプラットフォーム」の導入意向調査を実施

■ 調査概要

- 調査方法：電話での聞き取り調査
※先導的教育システム実証事業における教育クラウド・プラットフォームの説明資料を事前送付して聞き取り実施
- 回答数：1,243自治体（全自治体数（1,790）の69.4%）

■ 調査結果概要

- 約4割の441自治体が「積極的に導入を検討したい」と回答
- 上記理由について複数回答形式で調査した結果は以下の通り
 - 学校でも家庭でもシームレスに学習ができること 69%
 - 誰がいつどれくらい利用したかが可視化されること 43%
 - 多種多様なコンテンツから選択ができること 42%
 - シングルサインオンやポータルサイトの機能 34%

教育クラウド・プラットフォームによる貢献

「教育クラウドプラットフォーム」の普及・展開・活用を通じ、必要な資質・能力を確実に効果的に育む教育環境づくりを目指し、チャレンジ精神に溢れる、世界で活躍する人材の育成に貢献する

① 学習記録データの有効活用による学びの高度化

- ユーザ（学校・家庭）による学習記録データの有効活用、ユーザ許諾によるデータ流通により、個に応じた学びの高度化（アダプティブラーニング等）を実現
- 厳密な本人性確認（公的個人認証活用等）やシステム全体の信用基盤（トラストフレームワーク）の実証を通じ、安心・安全なデータ流通を確保

② 教育クラウド・プラットフォームとIoTの連携

- IoT連携の共通仕様を策定し、セキュアで多種多様なデータ蓄積を実現
- 「IoTによる新たなデータ」と「学習記録データ」の組合せにより、新たな価値を創出

③ AI・ビッグデータ活用によるデータ利活用の高度化

- データ利活用促進に向けた制度整備・ポリシー策定についてマイルストーンを設定
- AI等を用いたビッグデータ分析により、利用者・提供者に新しい価値を提供

